

身を守るには
知ることから！

情報セキュリティ被害の最新事例 2024年11月版

【大切なお願い】

会社を守るため、社長様、幹部様、従業員様、
パソコンやスマホを利用する**皆さまに回覧ください。**
自分事の実態を知ることが対策の第一歩です。

【この冊子の活用の仕方】

この冊子では、セキュリティの最新情報を月刊で
お伝えしています。被害事例を**自社に置き換えて、**
対策と意識向上にお役立てください。

■ 警告！

ブラックフライデーは個人情報等を奪う危ない詐欺メール急増期間です

2024年11月28日

- ・今年もブラックフライデーの季節になりました。年に一度の大安売りイベントとして日本でもすっかりお馴染みになったようです。
- ・大きなセール期間中は詐欺メールなどが増加する傾向にあります。たとえば、Amazonプライム感謝祭が開催された今年10月のフィッシング報告件数は過去最多の18万1443件にのぼりました。そのうちAmazonを騙ったものは報告数全体の約26.8%を占めています。
- ・マカフィーが発表した「2024年ホリデーショッピング詐欺に関する調査」によると、詐欺メッセージは急増しており、日本人回答者の44%が「Amazonのセキュリティ通知やアカウント更新に関する通知を受信」したことがあるそうです。
もはやフィッシング詐欺は、誰でも遭遇すると考えるべきトラブルになっています。セキュリティにも注意を払いつつ、年に一度の大セールを楽しみましょう！



大型セールが開催されると、それに乗じてフィッシング詐欺も増加します。これからのブラックフライデーや年末年始のセールでは十分注意しましょう。

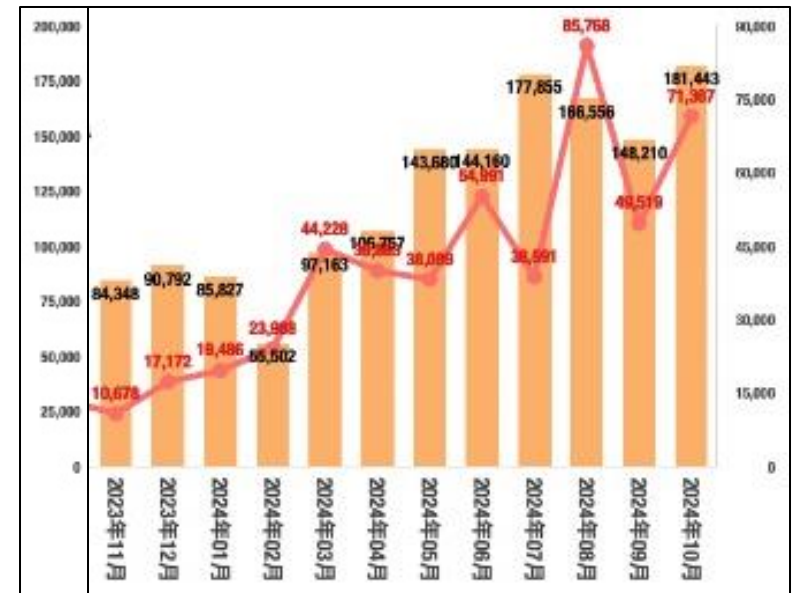
■ 画像：Amazonを騙るフィッシングメールの例

■ 出典：<https://ascii.jp/elem/000/004/237/4237569/2/#eid4125087>

■ フィッシング報告が18万件超、過去最多 - URLも大幅増

2024年11月25日

- ・10月は18万件を超えるフィッシング報告が寄せられ、過去最多記録を更新した。悪用されたURLやブランドも増加しており、警戒が必要となる。
- ・フィッシング対策協議会によれば、同月に寄せられたフィッシング攻撃の報告は18万1443件。フィッシングサイトに悪用されたURLは7万1367件。前月の4万9519件から約1.4倍に増加した。8月の8万5768件に次いで2番目に多い件数となった。
- ・メール表示画面に表示されない文字列や正規のURLを埋め込んだり、UnicodeでURLを記載するほか、URLの認証情報部分やサブドメイン名にランダムな文字列を記載するなど、迷惑メールフィルタなどの検出から回避しようとする試みが引き続き観測されている。



ECサイトが普及する近年では、それに伴ってフィッシング詐欺が増加しています。フィッシングメールを人間の目で見分けるのは困難なため、日頃から公式アプリやブックマークの利用を心がけましょう。

■ 画像：フィッシング報告とURL件数の推移
■ 出典：<https://www.security-next.com/164597>

■ テレビ埼玉のホームページに不正アクセス 約 1 万 2,000 件の情報漏えい

2024年11月25日

- ・株式会社テレビ埼玉は11月13日、同社ホームページへの不正アクセスについて発表した。
同社によると、11月11日午後10時頃から翌12日午前0時頃に当該サイトのサーバで不審な通信を検知しており、サーバ監視会社の調査で当該サイトの一部のプログラムの脆弱性を突かれた攻撃と判明している。
- ・漏えいした可能性があるのは、同社Webサイトサーバで保持している約1万2,000件の情報（番組プレゼント、ご意見投稿フォームなどから投稿された氏名、住所、電話番号、メールアドレス、ニックネーム、年齢、性別、ご意見等コメント内容の情報）。
- ・同社では引き続き、詳細な原因や具体的な影響などについて調査を行っているとのこと。



**これは不正アクセスによって1万件もの個人情報
流出してしまった事例です。各拠点のセキュリティ対
策や従業員教育を徹底しましょう。**

- 画像：テレビ埼玉ホームページ
- 出典：<https://s.netsecurity.ne.jp/article/2024/11/25/51958.html>

■「サイバー防御」法制化を提言へ 有識者会議、来月にも

2024年11月23日

- ・サイバー攻撃に先手を打ち被害を未然に防ぐ「能動的サイバー防御」に関する政府有識者会議が、法制化を求める提言を月内にまとめ、12月にも石破茂首相に提出する方向で調整していることが分かった。
- ・提言では、主に外国からの不審な通信情報を監視する必要があると指摘。官民連携を強化し、無害化措置の実施主体として自衛隊や警察の能力を活用するよう要請する。
- ・サイバー攻撃の被害防止に必要な情報について、政府から事業者側への共有を促し、重要インフラの事業者が被害に遭った場合は政府への報告を求める。攻撃元の特定に向けて収集する通信情報の範囲が適正かどうかを監視するため、独立性の高い第三者機関の設置も盛り込む方向だ。

近年、サイバー分野の対策の重要性が増しています。対策が必要と感じる場合は、セキュリティの専門家へ相談してみましょう。



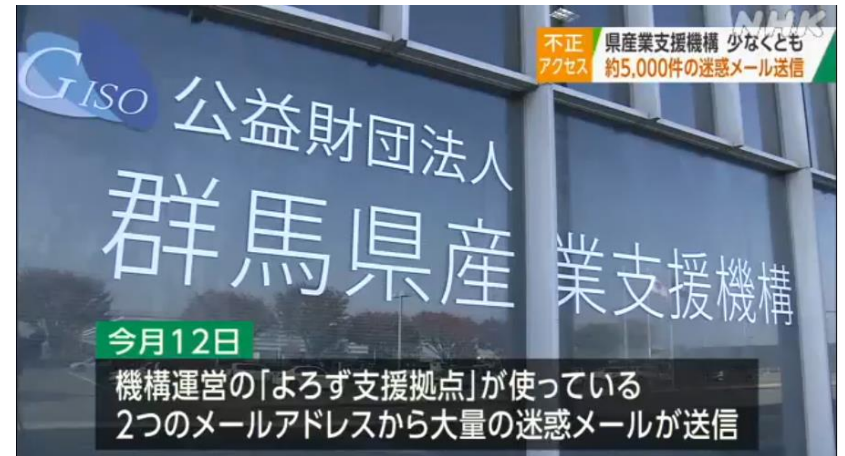
■画像：首相官邸

■出典：<https://www.tokyo-np.co.jp/article/368988?rct=politics>

■ 県産業支援機構から迷惑メール大量送信 外部の不正アクセスか

2024年11月15日

- ・今月、群馬県産業支援機構が管理するメールアカウントが不正なアクセスを受け、少なくともおよそ5000件の迷惑メールが外部に送信されていたことが分かりました。
- ・群馬県産業支援機構によりますと、今月12日、機構が運営する無料の経営相談所「よろず支援拠点」が使っている2つのメールアドレスから、登録していない送り先に大量の迷惑メールが送信されました。迷惑メールの内容は請求書の送付を装ったもので、URLをクリックするとウイルスに感染する可能性があるということです。
- ・これまでのところ、情報漏えいなどの被害は確認されていないということです。不正なアクセスを受けたアカウントには比較的簡単なパスワードが設定されていたということで、機構はセキュリティー強化の徹底を図ることにしています。



不正アクセスの被害はデータ損失だけではありません。この事例のように、迷惑メールの踏み台にされてしまうこともあります。

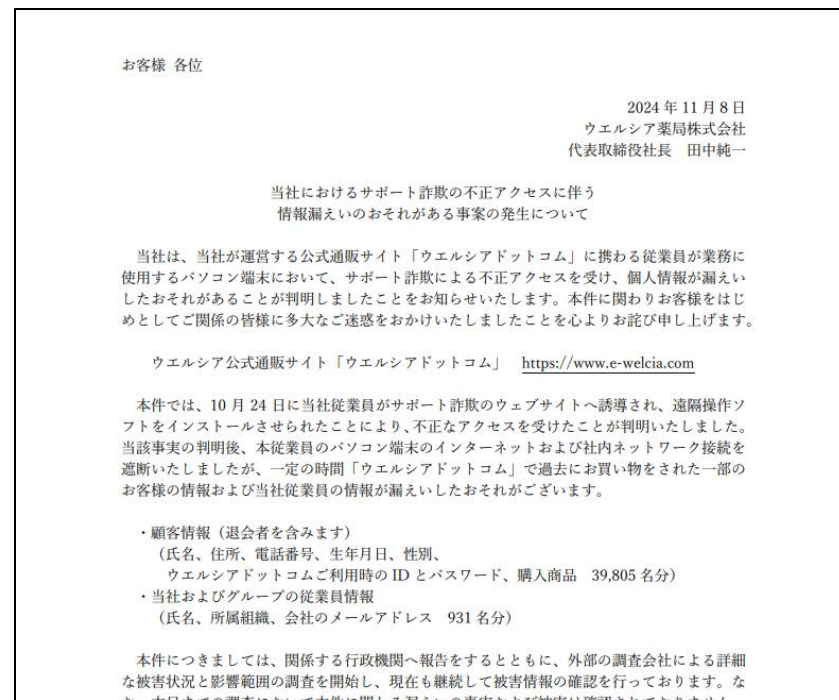
■ 画像：群馬県産業支援機構（NHK NEWS WEBより）

■ 出典：
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/maebashi/20241115/1060018441.html>

■「ウエルシアドットコム」から約4万人分の個人情報漏えいのおそれ 従業員がサポート詐欺に

2024年11月10日

- ウエルシア薬局は11月8日、外部からの不正アクセスにより個人情報が漏えいしたおそれがあると発表した。公式通販サイト「ウエルシアドットコム」に携わる従業員がサポート詐欺に遭った。
- 10月24日に従業員がサポート詐欺のWebサイトに誘導され、遠隔操作ソフトをインストールさせられたことで不正アクセスを受けた。これにより、ウエルシアドットコム利用者3万9805人分の個人情報や、ウエルシア薬局グループ社員931人分の情報が漏えいしたおそれがある。
- 同社は利用者や関係者に対して謝罪した上で、情報漏えいの可能性がある利用者に連絡を取り、パスワードの変更および不審なメール等は開封せずに削除するよう求めている。また今後は、個人情報を扱う業務プロセスの見直しや情報セキュリティの強化、情報セキュリティに関わる社内教育を徹底している。



セキュリティ対策には従業員教育も欠かせません。少しずつ知識を身に付けサイバーセキュリティをより強固にしていきましょう。

■画像：ウエルシア薬局の発表文

■出典：

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2411/08/news186.html>

情報セキュリティ対策は、実績豊富で信頼できる企業をお選びください。

最近、ランサムウェアや情報漏えいなど、経営に関わるサイバー攻撃の被害も増加し、ひとつの社会問題となっています。私たちは、「**サイバー攻撃の脅威からお客様を守りたい**」そして、「**今後もお客様と一緒に永く成長していきたい**」と強く思っています。

情報セキュリティは、社内ネットワークに関わる重要な部分であり、信頼できる会社と付き合うことが大切です。私たちは、お客様に正確な情報と知識、安心の技術サポートを提供できる体制を整えていますので、ぜひご安心ください。

